

# 財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 東出雲町

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
1,812	1,563	178	3,553

## 1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	5,541	5,486	55	55	319	8,056	
一般会計等	5,541	5,486	55	55		8,056	

## 2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険事業会計	1,224	1,191	33	33	64	-	-	
介護保険事業会計	689	667	22	22	124	-	-	
老人保健事業会計	1,089	1,089	0	0	115	-	-	
簡易水道事業会計	46	46	0	0	6	302	136	
農業集落排水事業会計	163	163	0	0	88	1,126	972	
公共下水道事業会計	1,266	1,262	4	0	603	6,389	3,520	
上水道事業会計	267	244	23	331	12	620	31	法適用
公営企業会計等 計				386		8,437	4,659	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。  
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。  
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。  
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

## 3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
市町村総合事務組合	8,412	8,382	30	30	301	-	-	
後期高齢者広域連合	753	727	26	26	-	-	-	
松江市東出雲町山林組合	1	0	0	0	-	-	-	
一部事務組合等 計				56				

## 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
東出雲町土地開発公社	60	395	5	0	385	2,099			
地方公社・第三セクター等 計			5	0	385	2,099	657	44	

- (注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

## 5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		272	
減債基金		360	
その他充当可能基金		638	
充当可能基金 計		1,270	

- (注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

## 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	3.20	1.56	△ 1.64	△ 15.00	△ 20.00	上水道事業会計		126.3	
連結実質赤字比率		12.60		△ 20.00	△ 40.00	簡易水道事業会計		1.1	
実質公債費比率	22.2	23.5	1.3	25.0	35.0	農業集落排水事業会計		1.7	
将来負担比率		173.8		350.0		公共下水道事業会計		0.1	
財政力指数	0.43	0.45	0.02						
経常収支比率	91.2	95.6	4.4						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。  
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。